



学校だより

学校教育目標

ふるさとの魅力を発見・発信し、次代を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校
第6号

令和2年6月16日発行
文責 校長 宮地 浩幸

6/2 (火) に合同朝会を行いました。

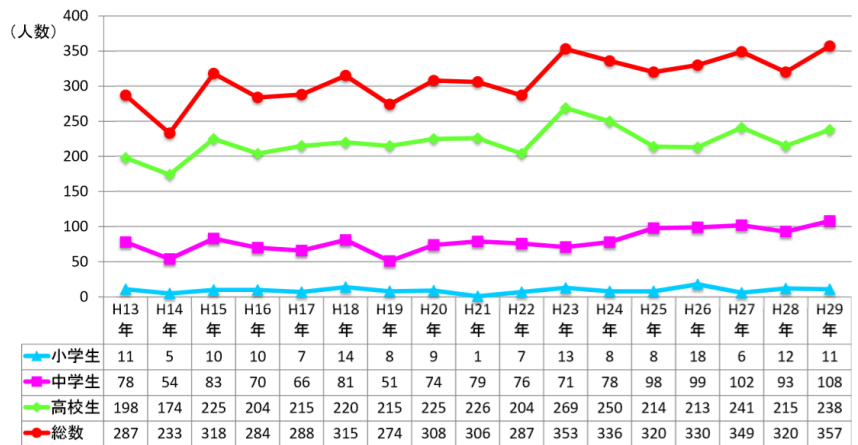
校長は通常の授業を行いませんので、集会の折に何を子ども達に話そうかととても楽しみです。もともと生徒と関わりたくて教職を選びました。授業がなくなるのはとてもさみしいことです。そんな中今回は、命を題材に選びました。まず何よりもそれが大切だと考えたからです。また、今年、私の子ども達もようやく、学校を卒業し晴れて社会人になりました。実際に子どもを育ててきた私の経験より、本校の子ども達に親の思いをできるだけ伝えたいと思いました。

毎日子ども達が素直に育っていく様子を見てのご家庭でのご苦労もよくわかります。学校ではできるだけ子ども達をほめて育てたいと思っています。

ところで、毎年、小学生、中学生、高校生の自殺者総数は右の図が示すように少しずつ増える傾向にあります。また、夏休み明けに自殺者が急増するというデータもあります。会の中では、まず、中学生にグラフや表を提示してそこから何が読み取れるか尋ねてみました。そこで素晴らしいのは、きちんと「日本人全体の自殺者の数は減少してきている中で、児童生徒の自殺者の数はあまり変化がない」とその傾向を答えてくれることです。理科や社会の授業ではグラフの読み取りは頻繁に行われます。その時、大勢

の中で回答することはとても勇気がいることです。本校の集会は6人という少ない人数で行うために、意見や考えを発表しやすい環境です。先生と児童生徒の間で集会であろうと双方向のやり取りができることは、強みでもあります。そして、子ども達に伝えたかったのは自分の命は決して自分だけのものではないということです。愛情いっぱい育てられた本校児童生徒は、家庭や地域のかけがえのない存在であるということを伝えました。毎日元気に登校し、勉強やスポーツに励んでいる子ども達を見てると私たちもうれしくなります。

児童生徒の自殺者数[推移](厚生労働省・警察庁)



※1 暦年(1-12月)集計
※2 国公私立学校全てが対象。
※3 発表日で集計

(出典)厚生労働省・警察庁「平成29年中における自殺の状況」

<ポイント> 全体の自殺者数が減少する中で、児童生徒の自殺は減少していない。

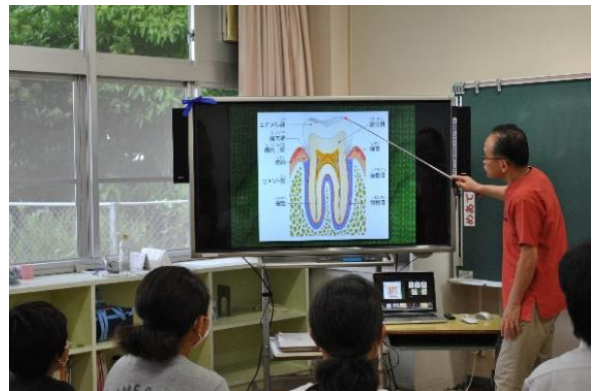
歯科保健指導

6月3日(水)に、西唐津で歯科医院を開業されているの藤井哲則先生に、歯科検診を行っていただいた後、歯科保健指導の講話をしていただきました。テーマは「むし歯の原因とフッ素洗口」です。まず初めに歯の仕

組みについての説明がありました。理科に興味がある者にとっては大変参考になる内容でした。

先生の話の中で、強調されたのは、むし歯は状況が悪化するほどその治療費がかなり高額になるということでした。つまり、その構造が複雑であるために、エナメル質と呼ばれる歯の表層部の軽度な異常でむし歯を発見できれば、簡単な処置で済み、ほとんど治療費がかからないということでした。ところが一般に歯医者さんへ行くときには、痛くてどうしようもなくなる時であり、その時には神経や血管があるところまで処置をしなければいけないということでした。このようなことは普通の病気でも早期発見、早期治療が最も効果的であることと何ら変わりません。しかし、なかなか歯の治療に関しては、私たちの健康管理の意識がやや欠損していることが否めません。歯磨きの後に毎日自分の歯をしっかり見ること。定期的に歯医者さんへ行くことが歯の健康を保つためには必要だと先生はおっしゃいました。

ところでむし歯はどうしてできるのでしょうか。これは、食事の後の食べかすが歯に残ると口内の細菌がそれを使って酸を作りその酸が歯を溶かしていくことにより起こります。だから、食べかすをしっかり掃除すればいいわけですが、歯磨きをきちんとしないとそれが残ってしまいます。歯垢と呼ばれる食べかすは、はじめ柔らかいのですが数日たつと固くなってしまいます。これが蓄積されていくと歯石と呼ばれるものになります。歯磨きを上手にできないと歯石が増えていくので、これは歯磨きでは取れず、定期的には医者さんへ行って掃除してもらうのがいいというわけです。最後に、歯の表層であるエナメル質まででむし歯が止まれば、治療が簡単だと言いましたが、エナメル質を強くする働きを担うのがフッ素です。現在、子供たちは定期的にフッ素洗口をしています。フッ素洗口の目的は、歯質の強化、歯の表層の傷ついた部分の再石灰化、そして抗菌作用です。食は健康管理には欠かすことのできない要因であり、歯はそれを担保するためのツールです。子ども達にとってこれからの長い人生、いつまでも健康な歯を保ってほしいものです。



島内清掃

6/4（木）の午後に島内清掃を行いました。本校ボランティア活動の一環です。私たちの住んでいる島に感謝し、私たちの支援をいただいている島民の方々に恩返しの意味も込めて、清掃活動を行っています。子ども達の人数は少ないですができる範囲でみんな頑張りました。特にこの日は午後から気温が高くなり、小学校の低学年の児童にとっては厳しいものではなかったかと思えます。それでも、活動を終えてからの反省では、各自しっかり自分のことを振り返ることができました。

子ども達が、清掃活動をしているのと並行して数名の職員が学校に残り、校内とその周りの草払いを行いました。学校に草刈り機はあるものの、それを使ったことがある者が少なく、あまり上手に使いこなすことができませんでしたが、日頃勤務している校舎に感謝の意を込めて頑張りました。時々、校内や学校周りの草払いを島の方々が行ってくださっているのを見て、そのご苦労が改めて分かった気がします。いつもありがとうございます。

